

# 豊幌地区の移動実態に関する アンケート調査結果について

平成29年12月22日（金）

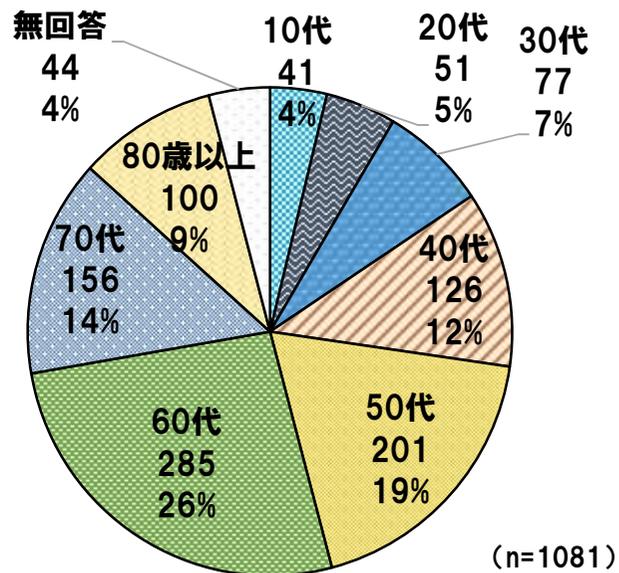
## 調査概要

### 調査方法・回収状況

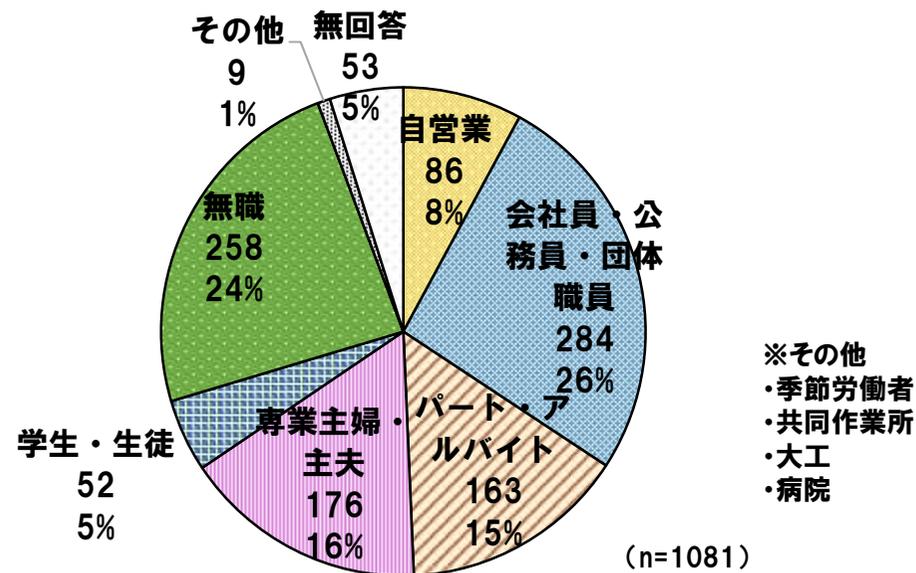
- 調査対象：豊幌地区の住民のうち15歳以上の者（H29.10.1現在2,387人）  
調査方法：自治会を通じ直接配付・直接回収  
※配付は世帯ごとに一律4票（世帯主用1票＋同居者用3票）  
※自治会非加入世帯は、郵送により回収
- 配布数：922世帯  
回収数：485世帯 1,081票（世帯主 485票、同居者 596票）  
回収率：票の割合 45.5%（1,081票／2,387人）  
世帯の割合 53.8%（485票／922世帯）

## 質問1.回答者の属性

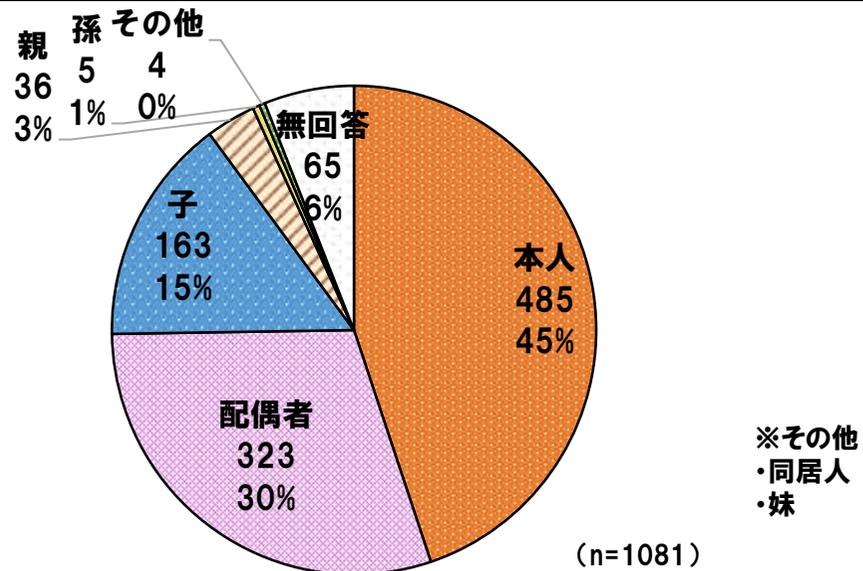
①年齢



②職業・就業の状況

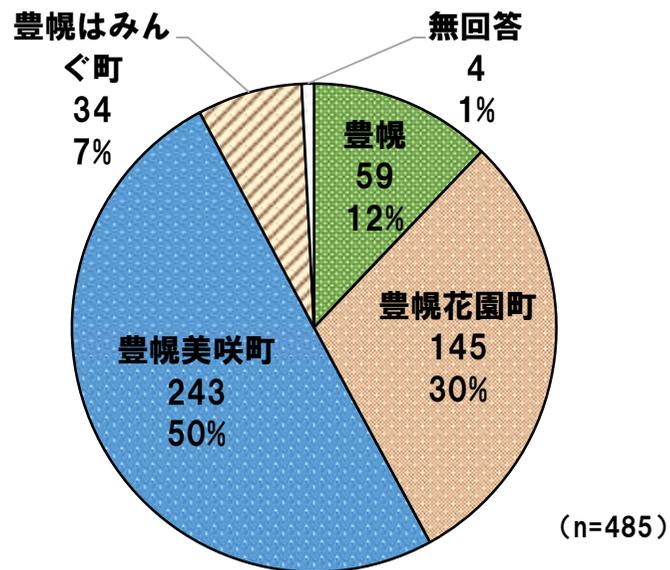


③世帯主との続柄

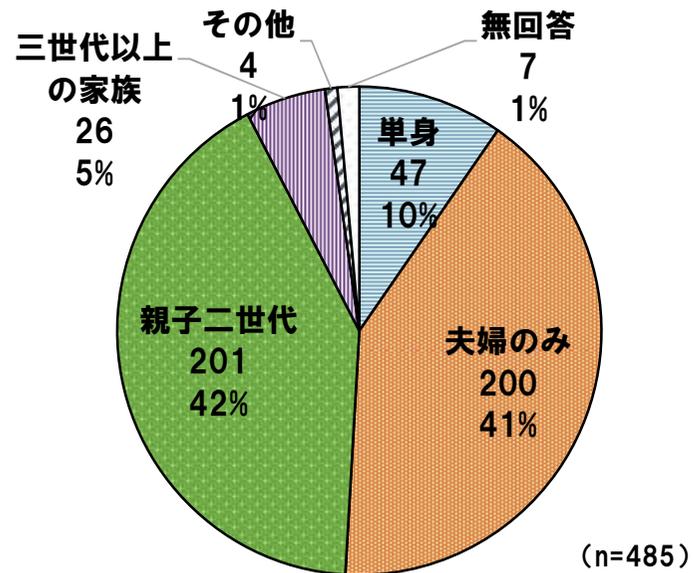


## 質問2.世帯について

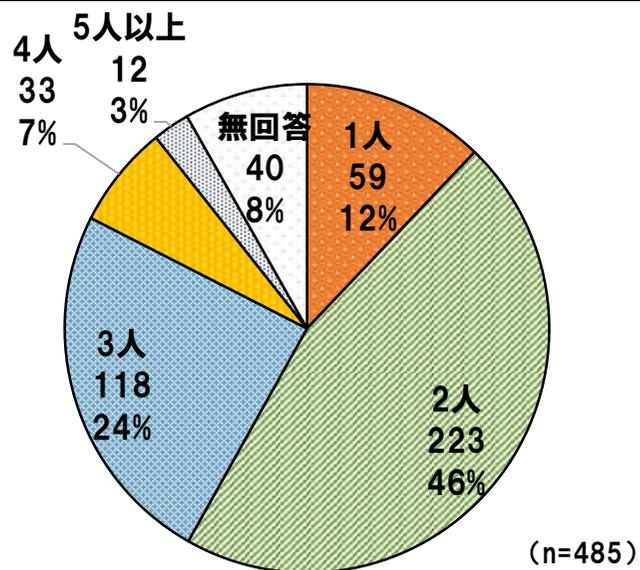
### ①居住地



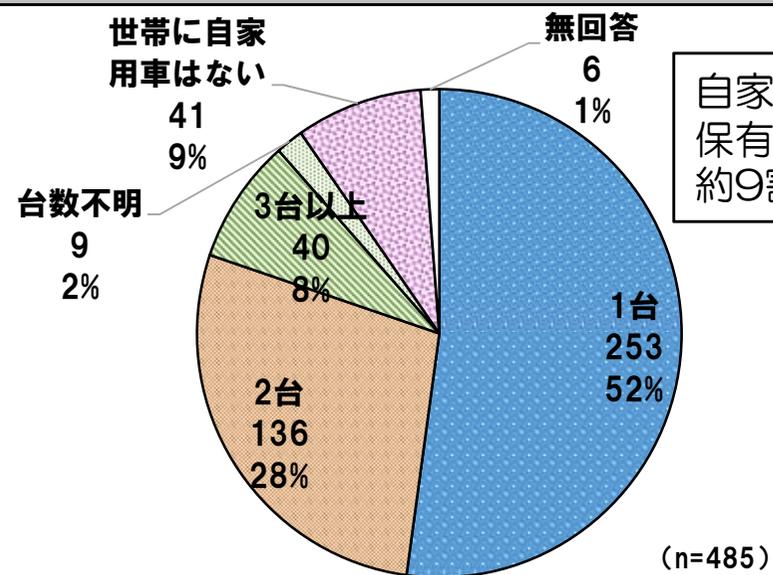
### ②世帯構成



### ③世帯構成員数 (15歳以上)



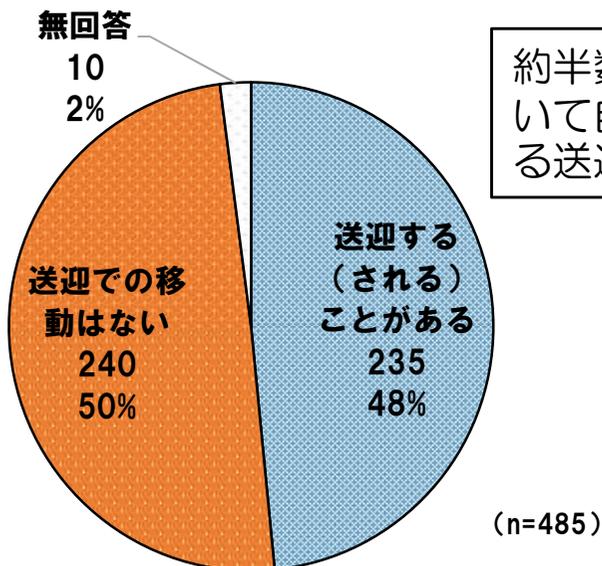
### ④保有自家用車数



自家用車の保有率は、約9割。

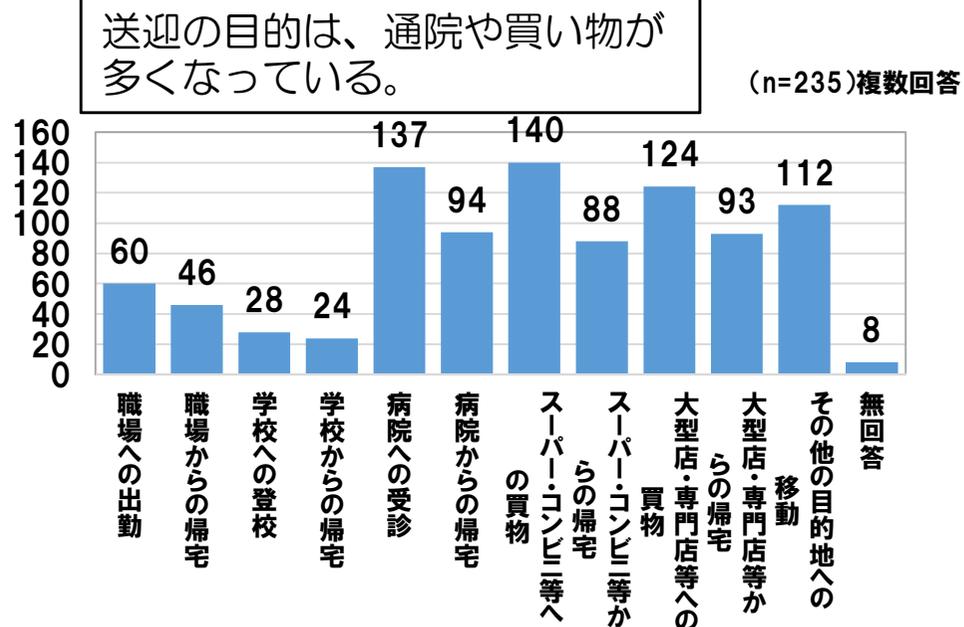
### 質問3. 自家用車による送迎

#### ①日常生活において定期的な送迎状況

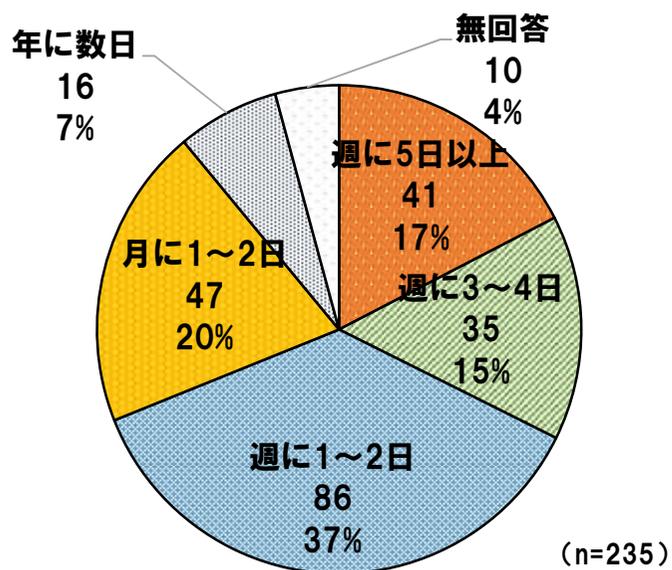


約半数の世帯において自家用車による送迎がある。

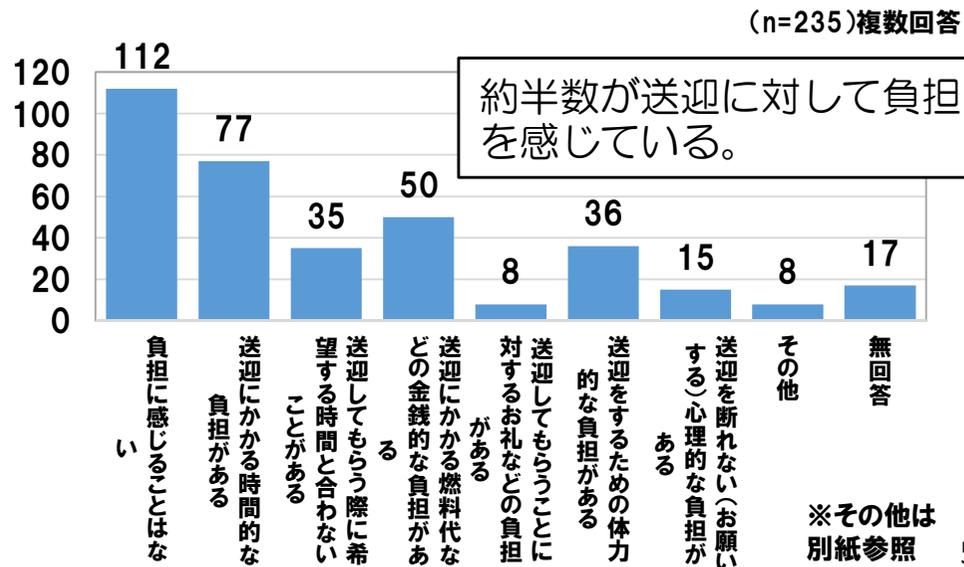
#### ②送迎目的



#### ③送迎頻度

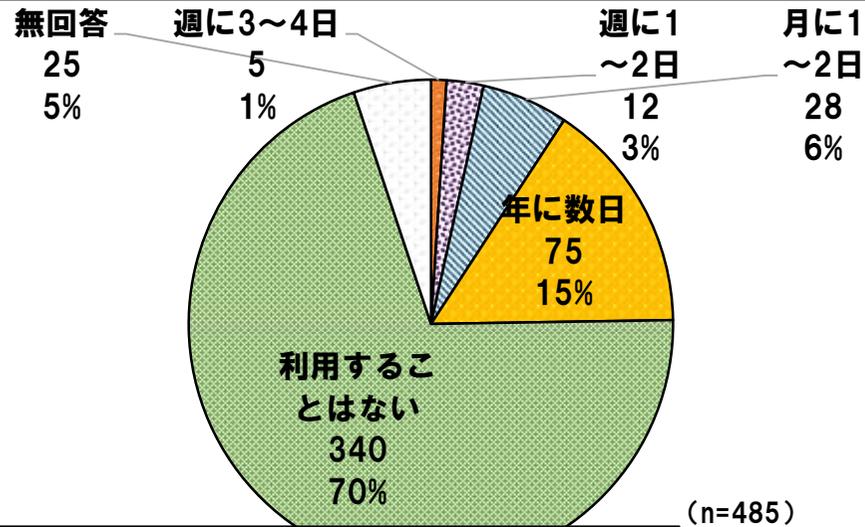


#### ④送迎の負担



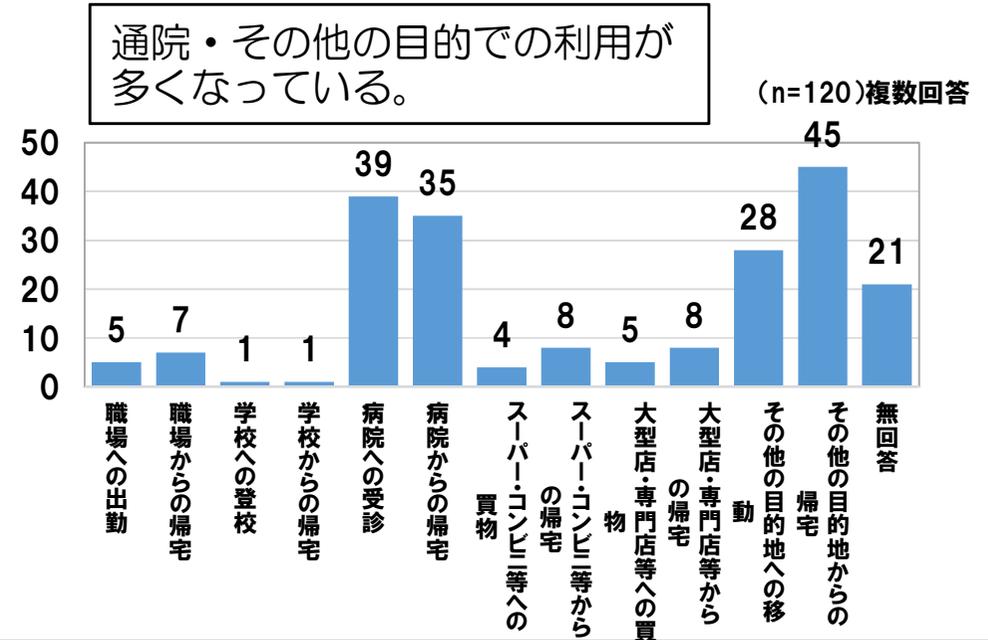
## 質問4.豊幌地区の公共交通について(世帯におけるタクシーの利用)

①定期的なタクシーの利用状況



約7割が、タクシーを利用することはないと回答している。

②タクシーの利用目的



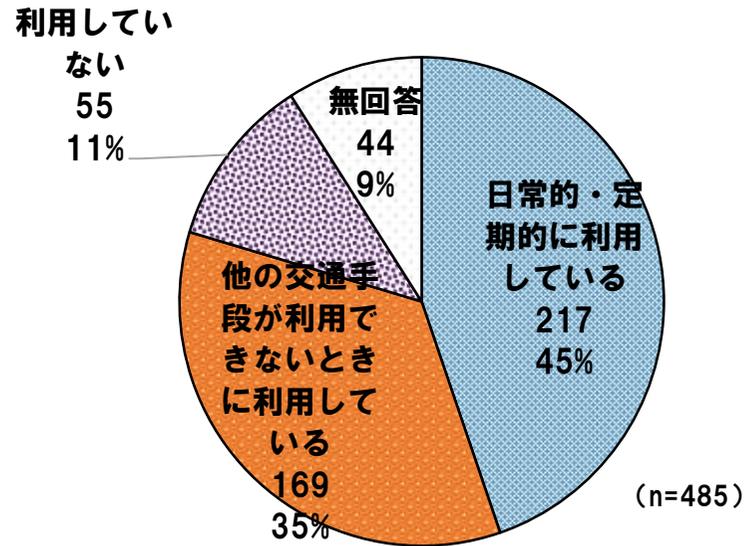
③タクシー利用に関する問題点や改善点(抜粋) ※全回答は、別紙参照

### ※主な意見

- ・迎車に10分かかる。冬などは電話が繋がらないことも。
- ・豊幌まで来てもらうのに抵抗がある。
- ・タクシーの利用方法がわからない(タクシー会社、連携方法、お迎え料金)。
- ・料金が安い。
- ・JR駅にタクシー乗り場がない。
- ・豊幌にはタクシー会社がなく、例えば豊幌駅から自宅までの交通手段がなく不便である。

## 質問4.豊幌地区の公共交通について(世帯におけるJRの利用)

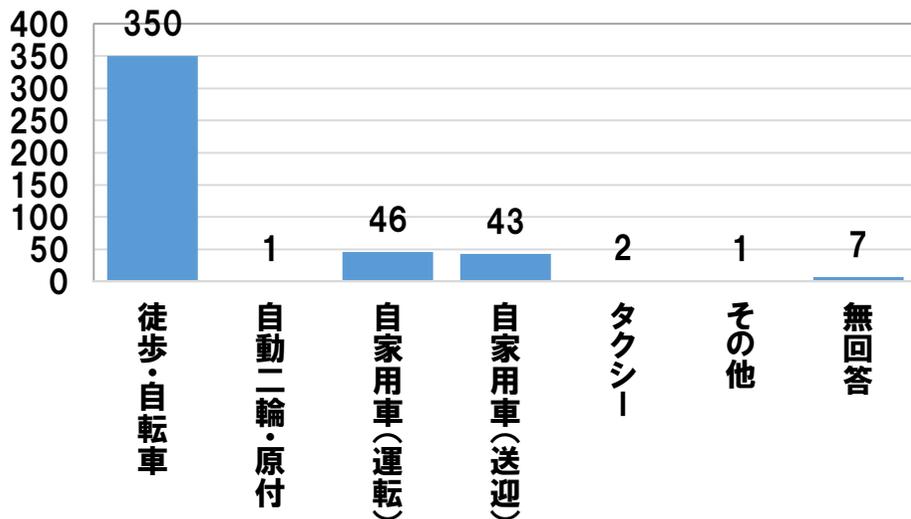
### ①JRの利用頻度



約8割がJRを利用している。

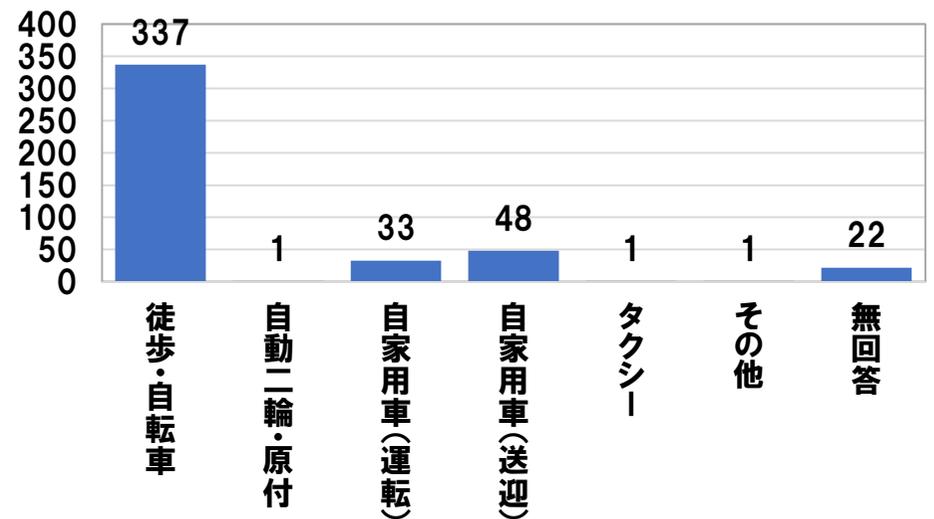
### ②自宅からJR豊幌駅への普段の移動手段(夏期)

(n=386)複数回答



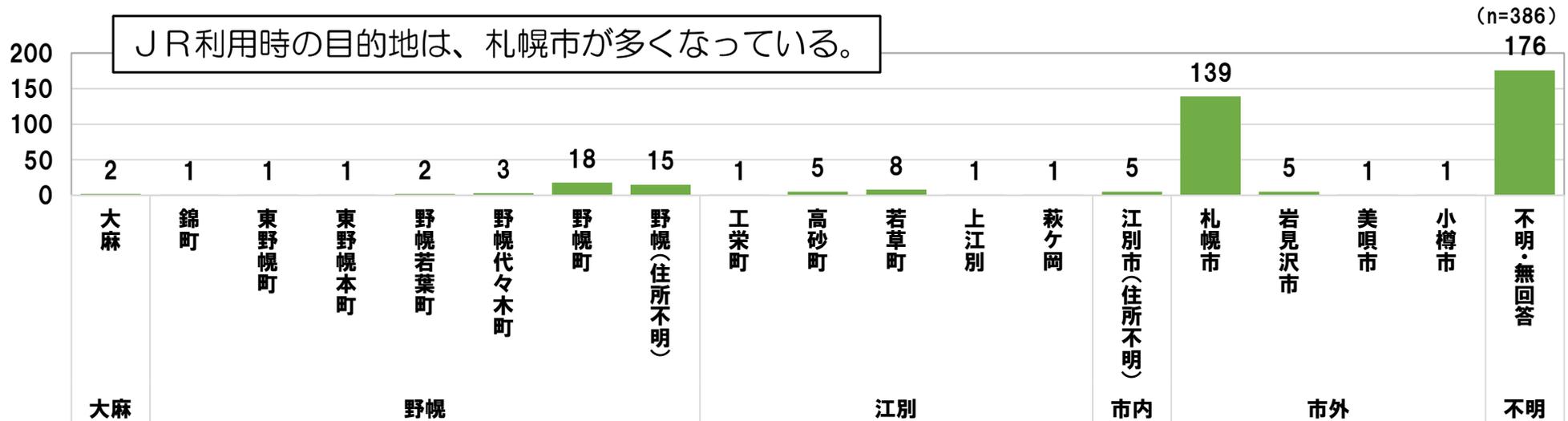
### ②自宅からJR豊幌駅への普段の移動手段(冬期)

(n=386)複数回答



## 質問4.豊幌地区の公共交通について(世帯におけるJRの利用)

### ③JR利用時の主な行き先



### ④JRの利用に関する問題点や改善点(抜粋)

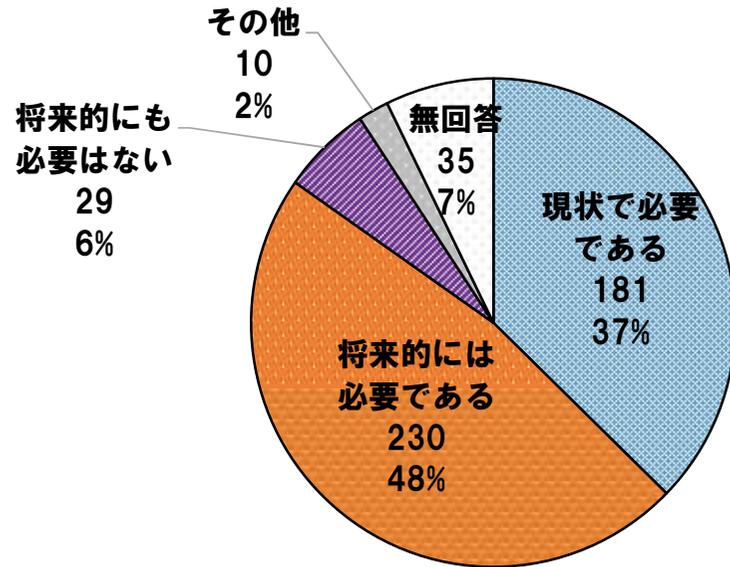
※全回答は、別紙参照

#### ※主な意見

- ・遅延がある。本数が少ない。
- ・通勤通学の時間帯だけでも本数を増やしてもらえると助かります。江別からは出ているように思いますが、岩見沢からは少ないと思います。岩見沢方面へ行く本数も少ないと思います。
- ・江別～豊幌JR不通時の代替がなし。臨時JRバス等ほしい。
- ・冬場でも駐車場が利用できると助かります。豊幌の住人だけでも…高額でなければ有料でも…。
- ・満員になる。・冬期が大変(満員とか)。
- ・冬期に多いJRの運行ストップは交通手段がなく仕事も休むことになります。
- ・豊幌駅はホームまで数段の階段になっていて車椅子のため不便を感じる。階段横にスロープでもあればいいと思う。
- ・Kitacaのチャージができない。
- ・年齢的にJR駅までの歩行が困難になっていくので。自宅からJR駅までの交通機関があればいい。

## 質問4.豊幌地区の公共交通について(豊幌地区内の公共交通)

### ①豊幌地区内において公共交通の必要性



(n=485)

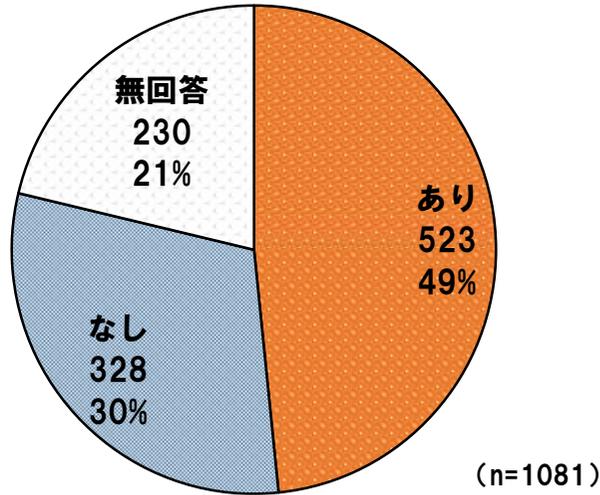
#### ※その他

- ・あれば便利。
- ・わからない。
- ・現在、移動が困難の方が多数であれば、すぐにでも必要でしょう。
- ・現在のところ、考えていない。
- ・個人的には自家用車や自転車等で移動できるので。
- ・高齢者、利用者、非利用者、自治会非加入者(会費加入者の利用?)等、質問6の4以外にも論議されなければ結果を出すのは不可と思われる。
- ・今は必要なし。
- ・自動車を運転できなくなると判断できない。
- ・歩行が難しくなればあると便利と思います。

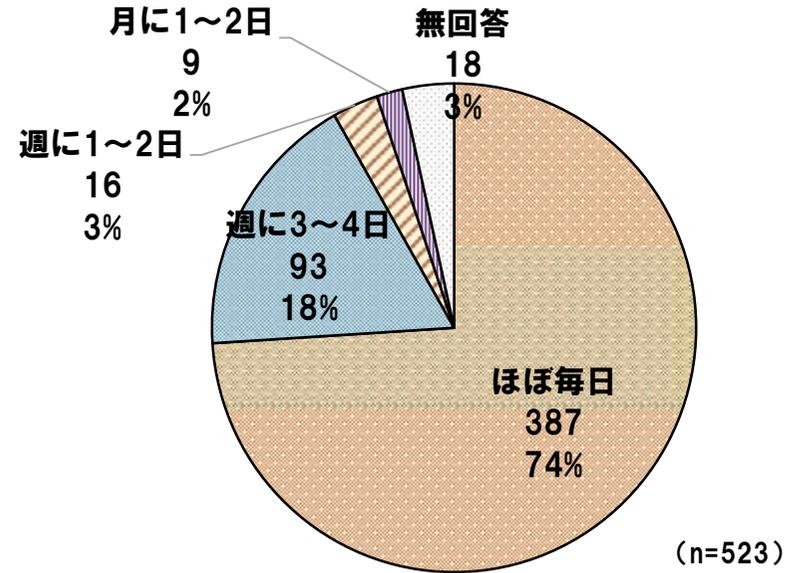
約4割が、現状で必要であると回答している。

## 質問5. 普段の移動 (通勤・通学)

① 通勤・通学の有無

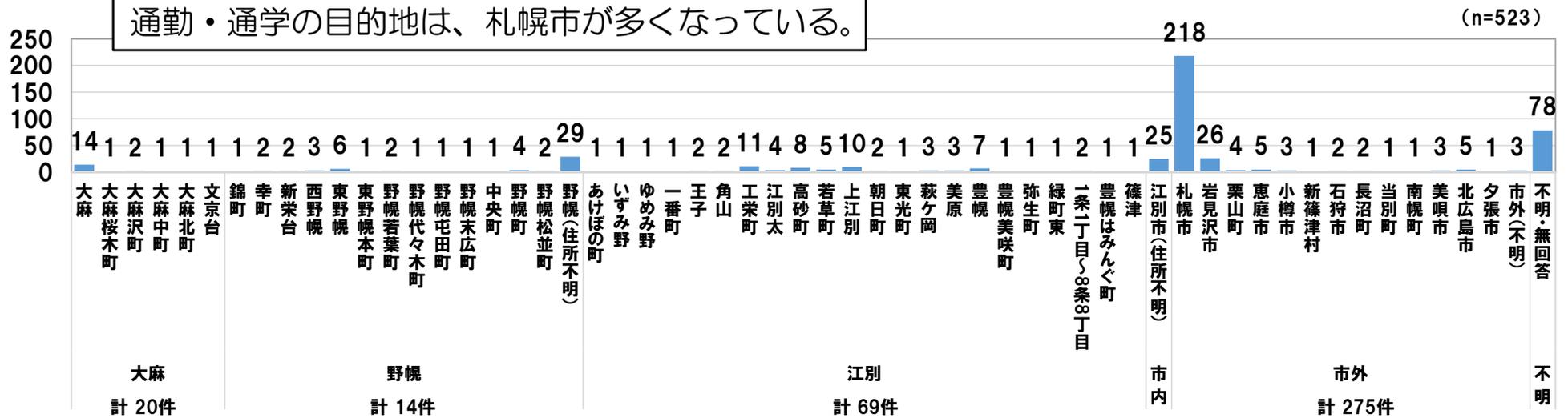


② 頻度



③ 目的地 (代表的な行き先)

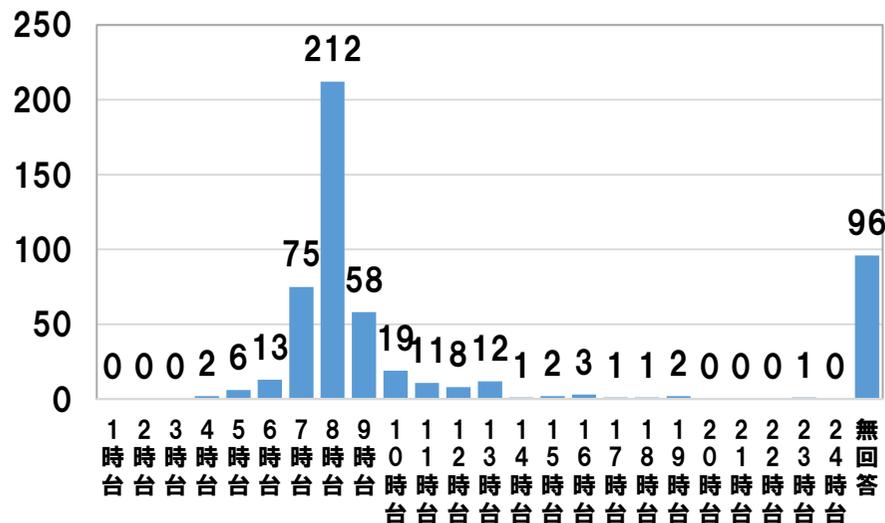
通勤・通学の目的地は、札幌市が多くなっている。



## 質問5. 普段の移動 (通勤・通学)

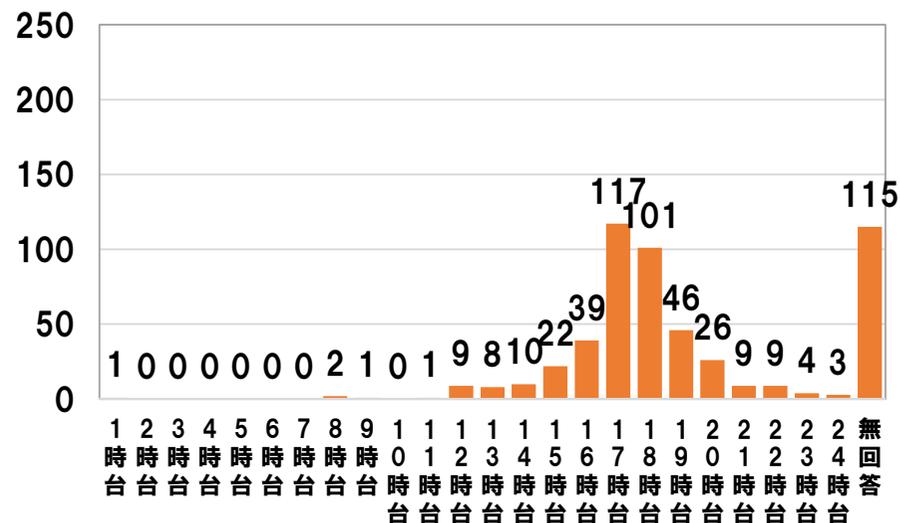
### ④ 目的地への到着時間

(n=523)



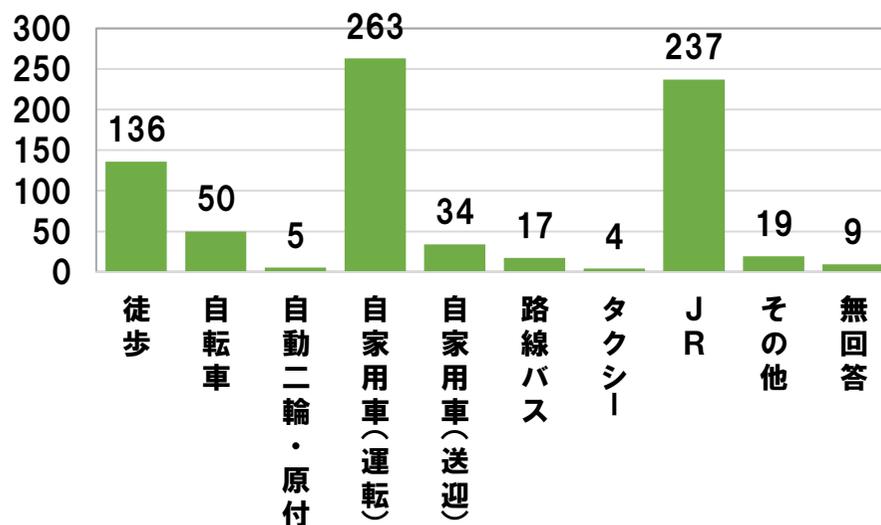
### ⑤ 目的地からの出発時間

(n=523)



### ⑥ 利用する交通手段

(n=523) 複数回答

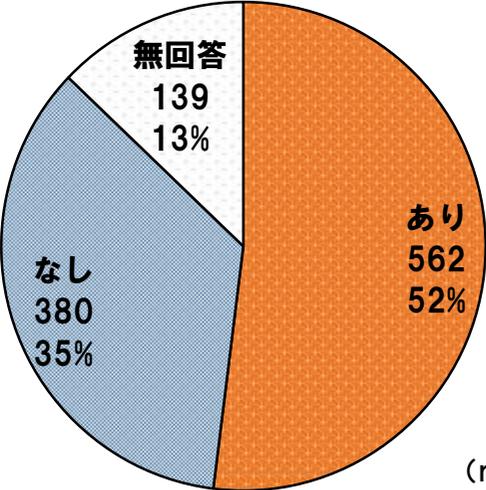


利用する交通手段は、「自家用車(運転)」が最多となっており、回答者の約半数が回答している。

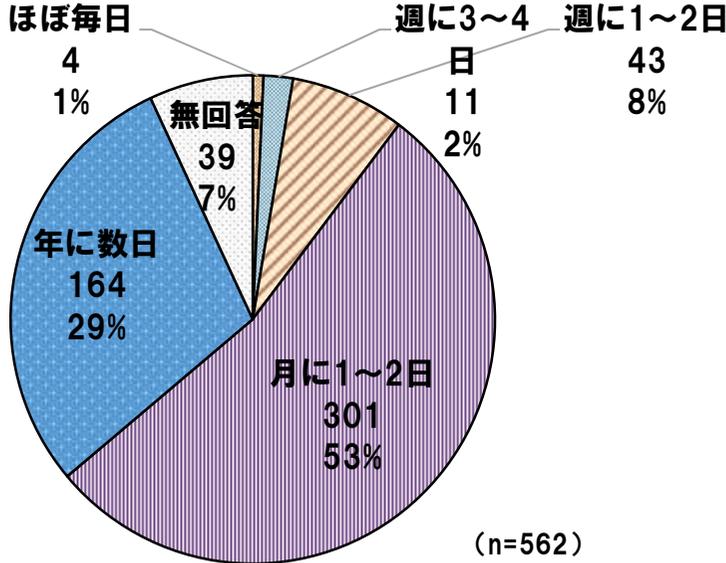
次いで「JR」が多くなっている。

質問5.普段の移動(通院)

①通院の有無



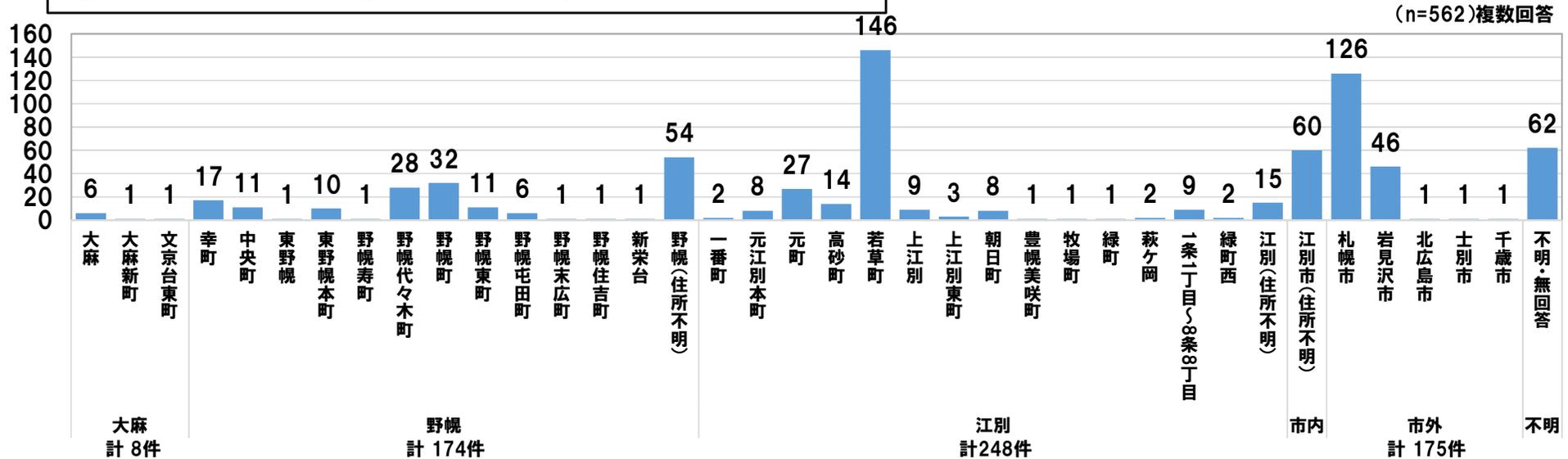
②頻度



## 質問5.普段の移動(通院)

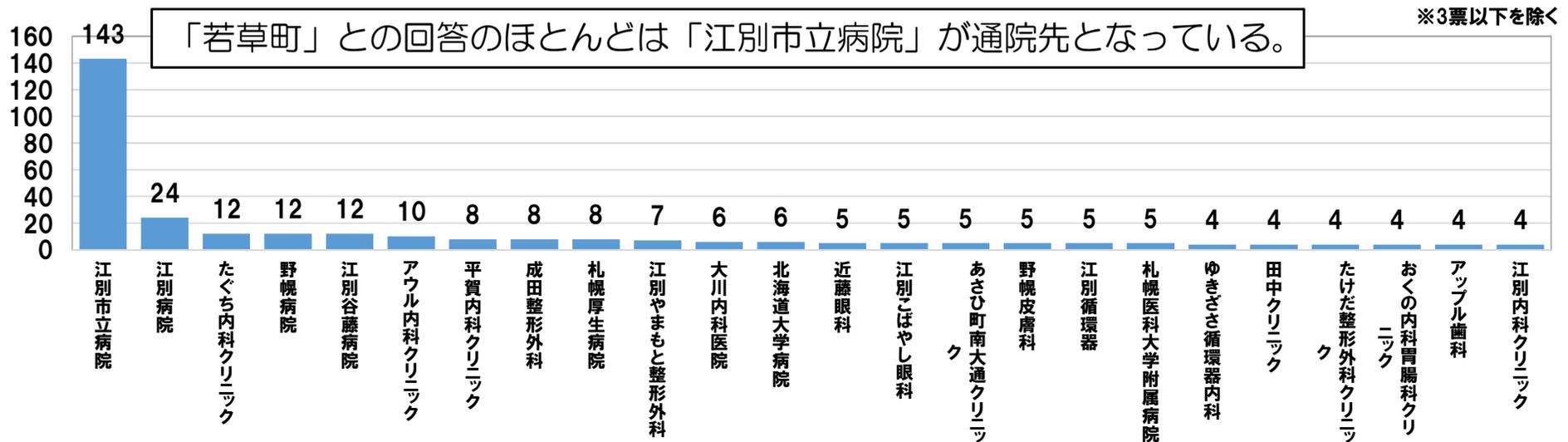
### ③目的地(行き先・2箇所まで)

通院先は、「若草町」と「札幌市」が多くなっている。



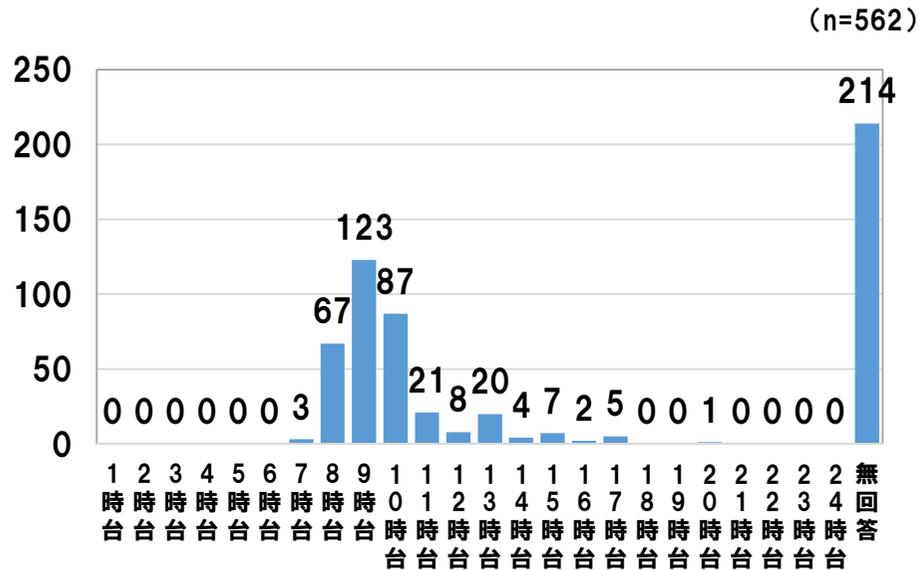
### ③目的地(行き先・2箇所まで) 施設名

「若草町」との回答のほとんどは「江別市立病院」が通院先となっている。

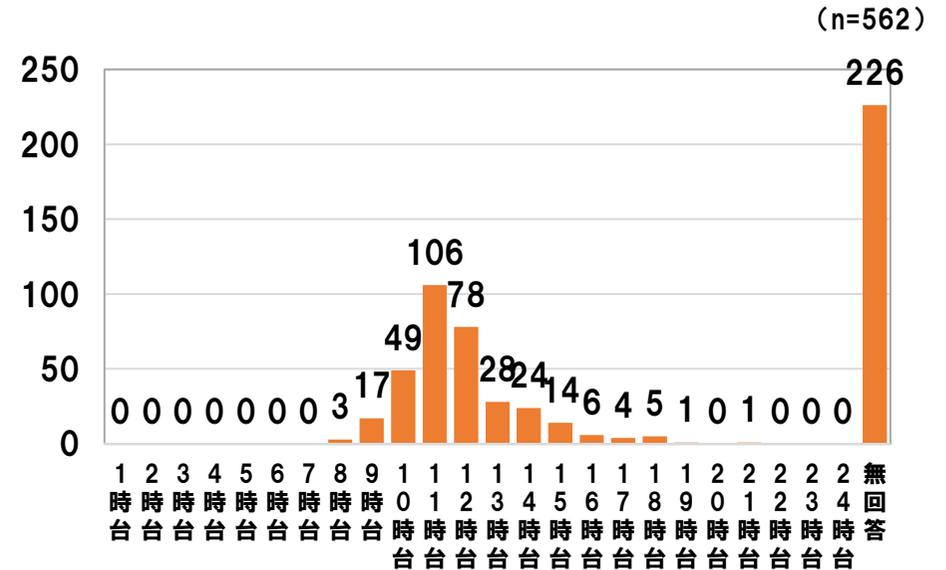


## 質問5.普段の移動(通院)

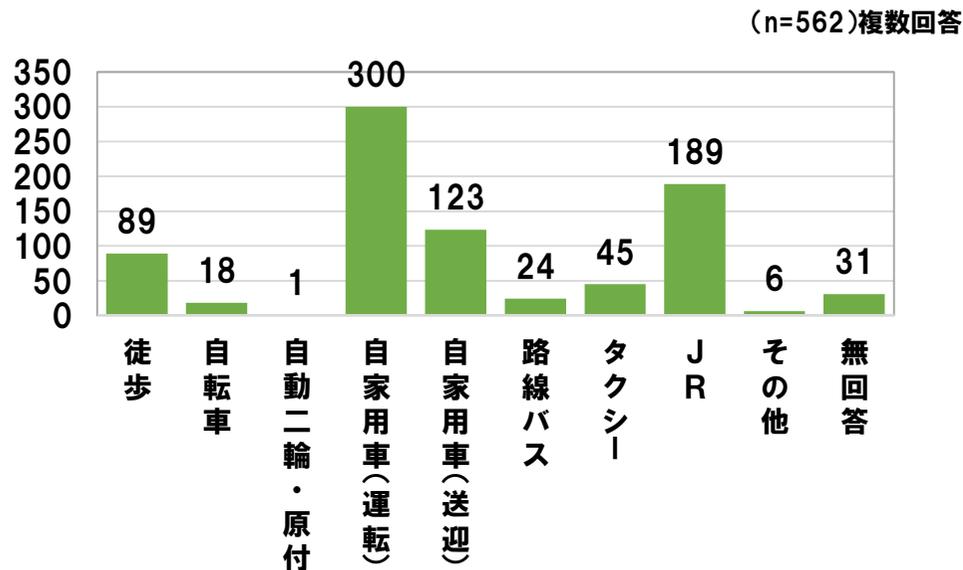
### ④目的地への到着時間



### ⑤目的地からの出発時間



### ⑥利用する交通手段

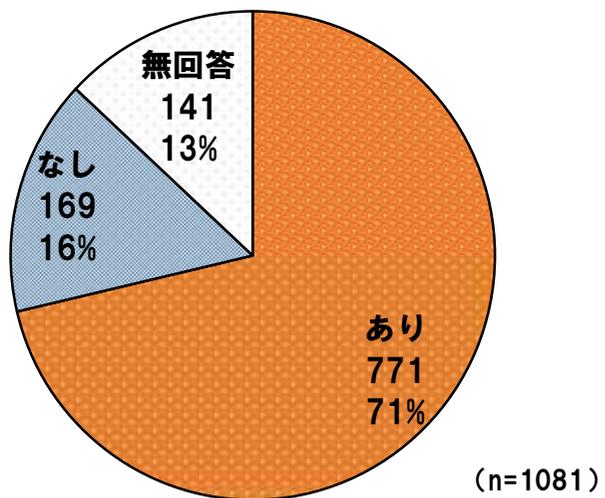


利用する交通手段は、「自家用車(運転)」が最多となっており、回答者の約半数が回答している。

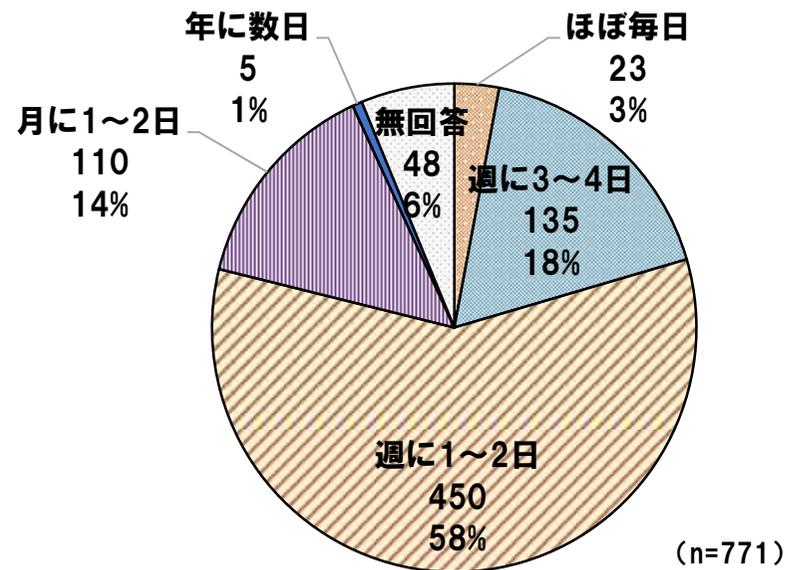
次いで「JR」が多くなっている。

### 質問5. 普段の移動 (スーパー・コンビニ等)

①食品等の日常的な買物の有無

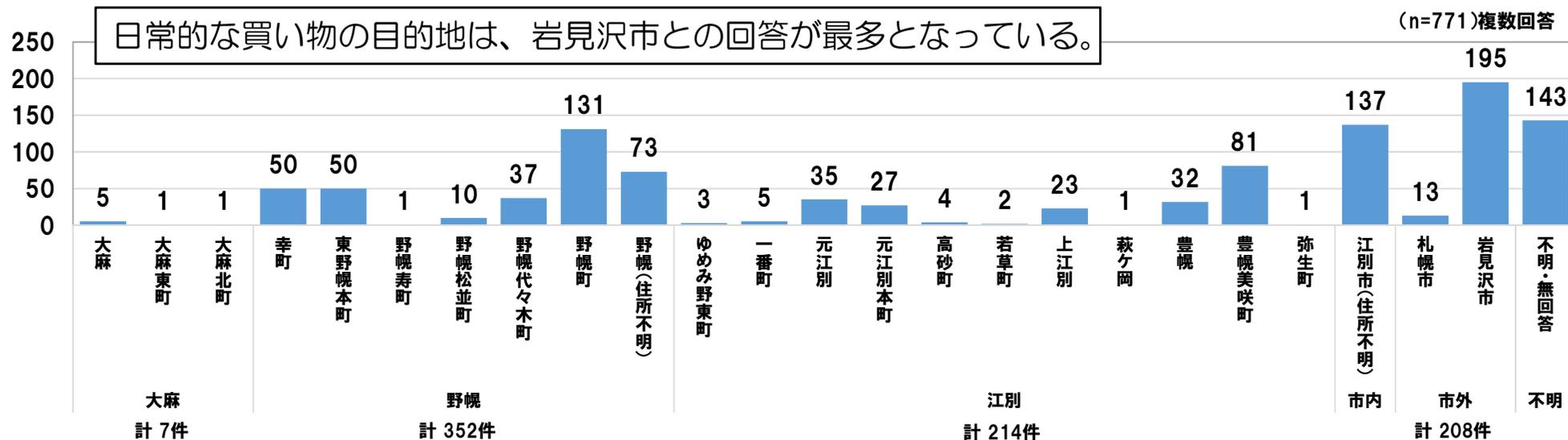


②頻度

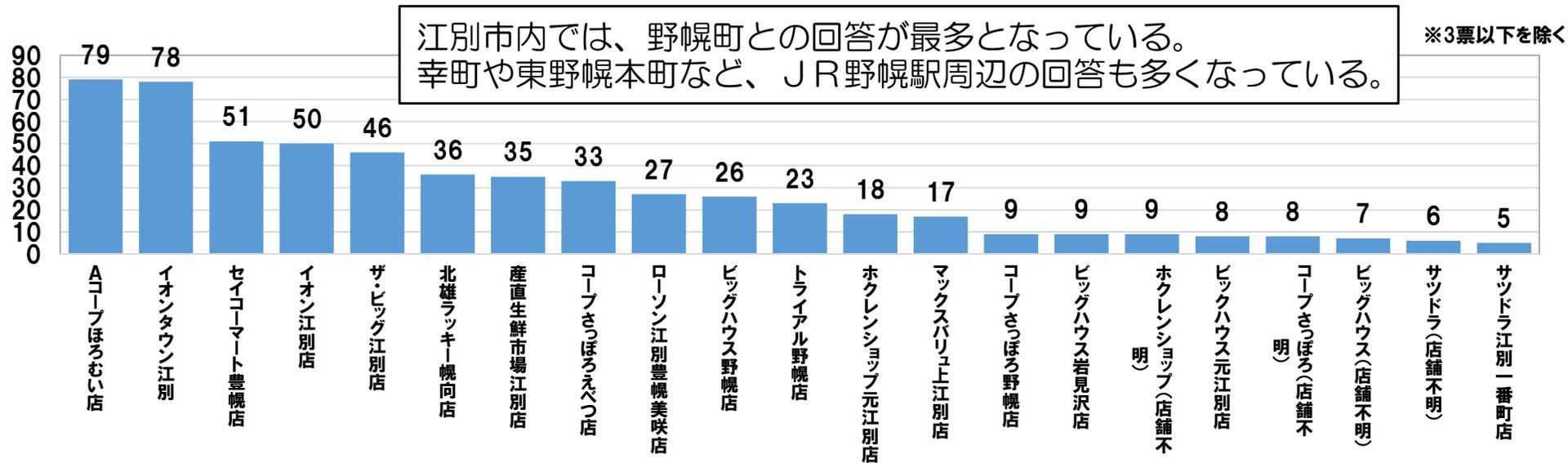


## 質問5. 普段の移動 (スーパー・コンビニ等)

### ③ 目的地 (行き先・2箇所まで)

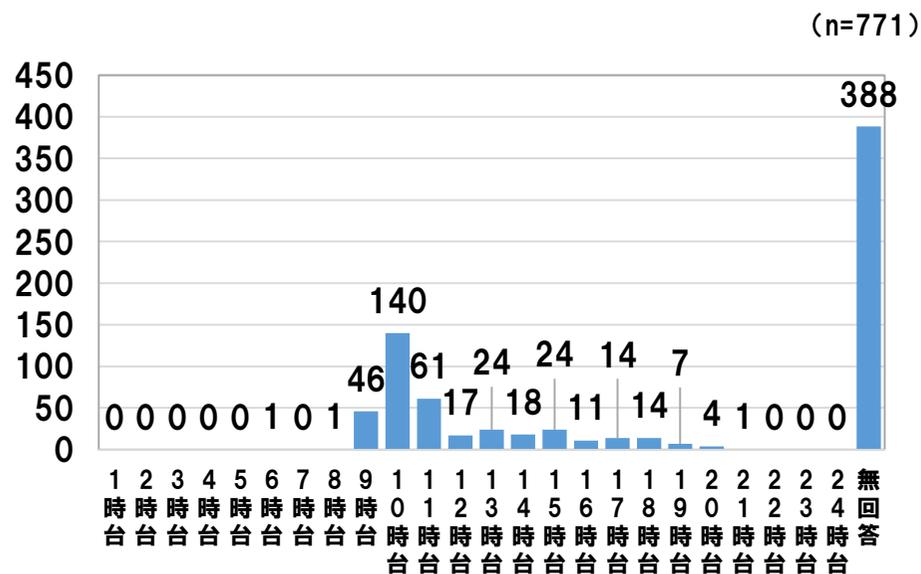


### ③ 目的地 (行き先・2箇所まで) 施設名

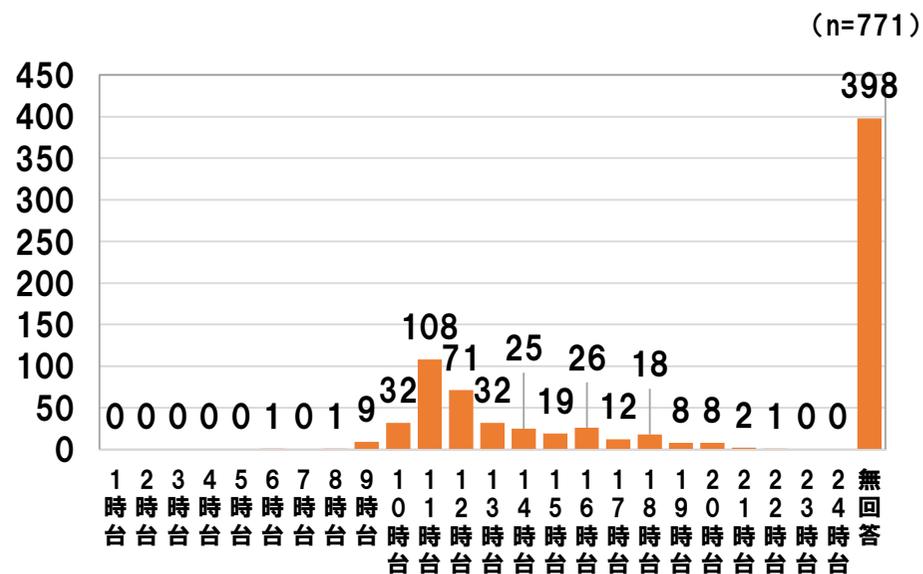


## 質問5. 普段の移動 (スーパー・コンビニ等)

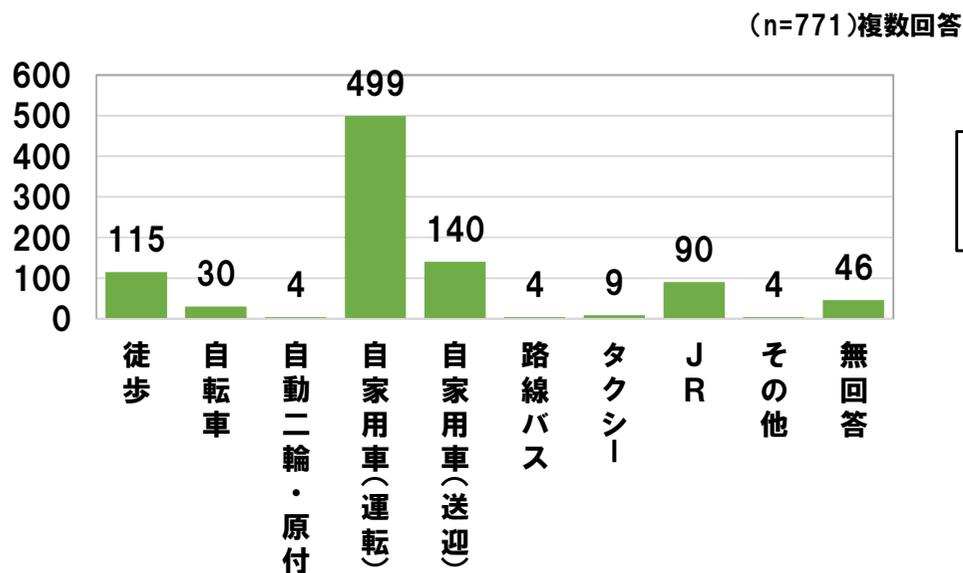
### ④ 目的地への到着時間



### ⑤ 目的地からの出発時間



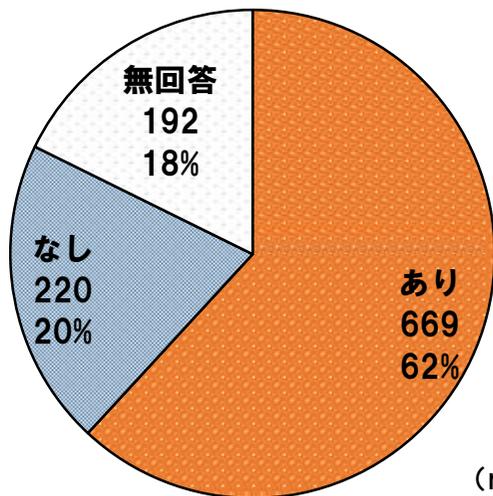
### ⑥ 利用する交通手段



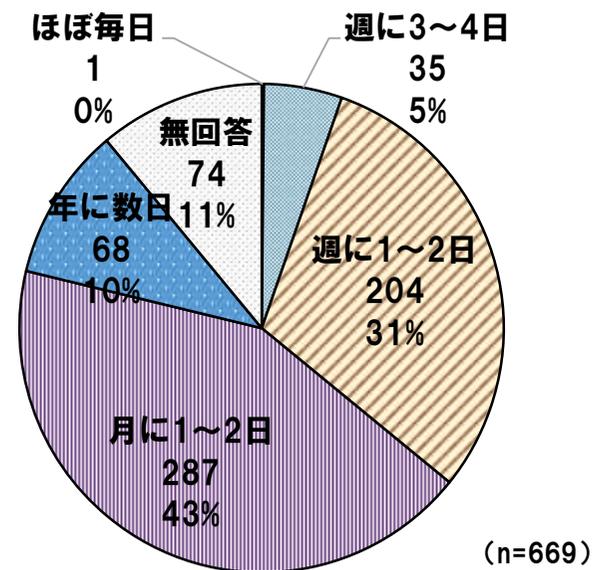
利用する交通手段は、「自家用車(運転)」が最多となっている。

### 質問5. 普段の移動 (大型店・専門店等)

① その他の買物の有無



② 頻度

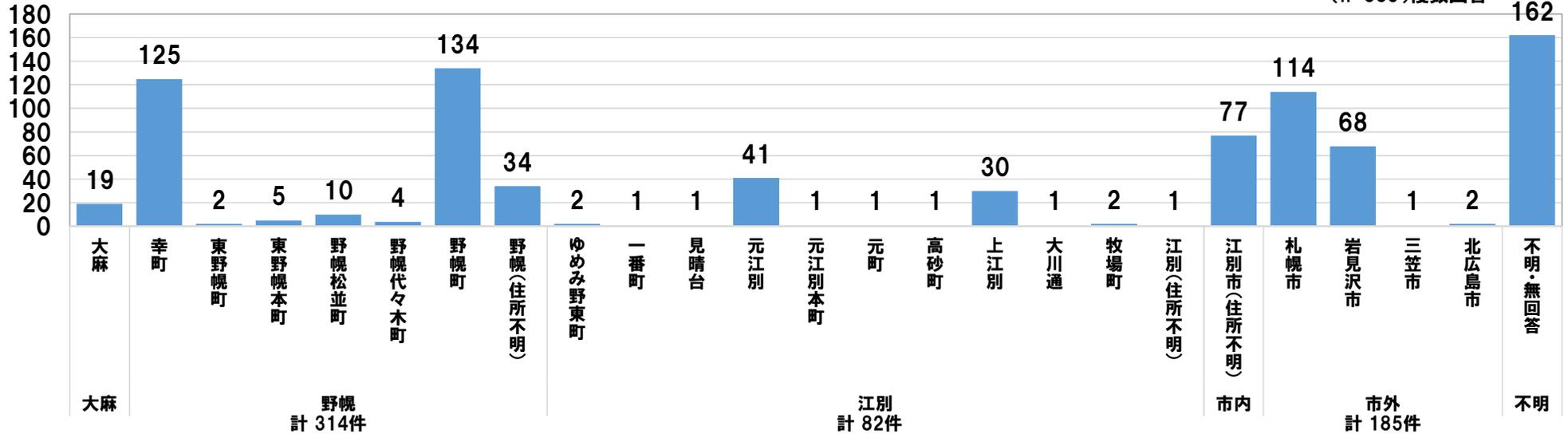


## 質問5. 普段の移動 (大型店・専門店等)

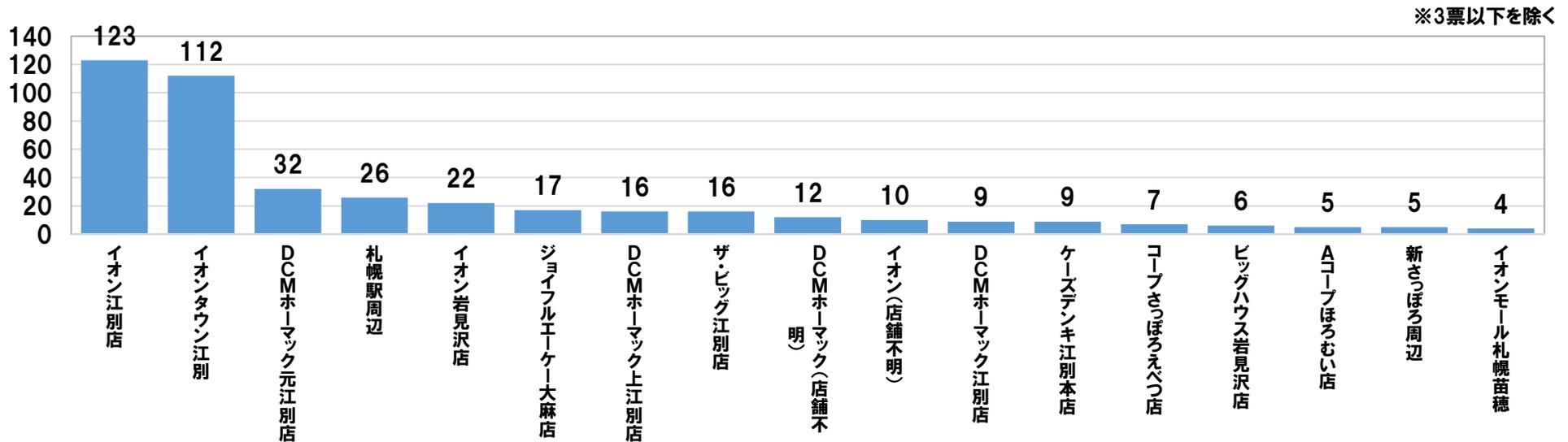
### ③目的地 (行き先・2箇所まで)

大型店・専門店等への買い物の目的地は、野幌町や幸町など野幌駅周辺が多くなっている。

(n=669)複数回答

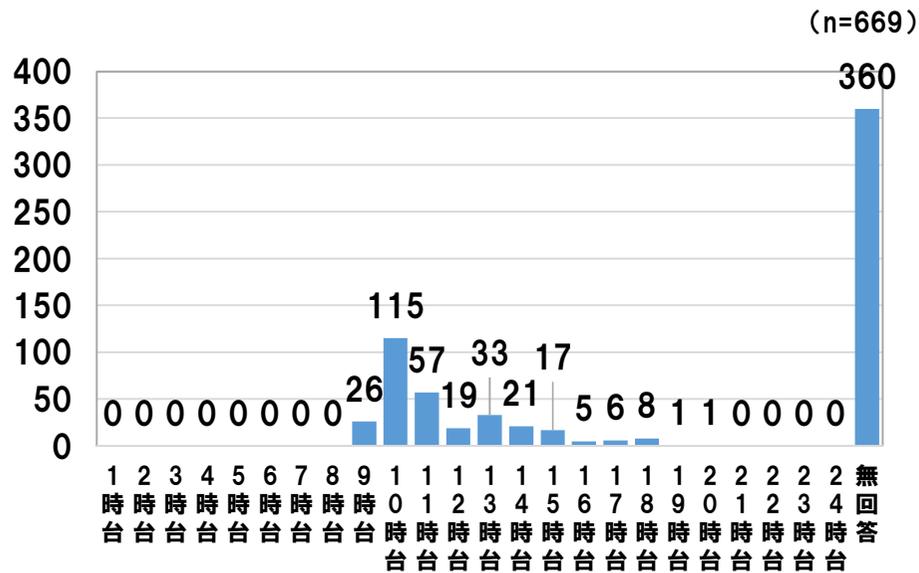


### ③目的地 (行き先・2箇所まで) 施設名

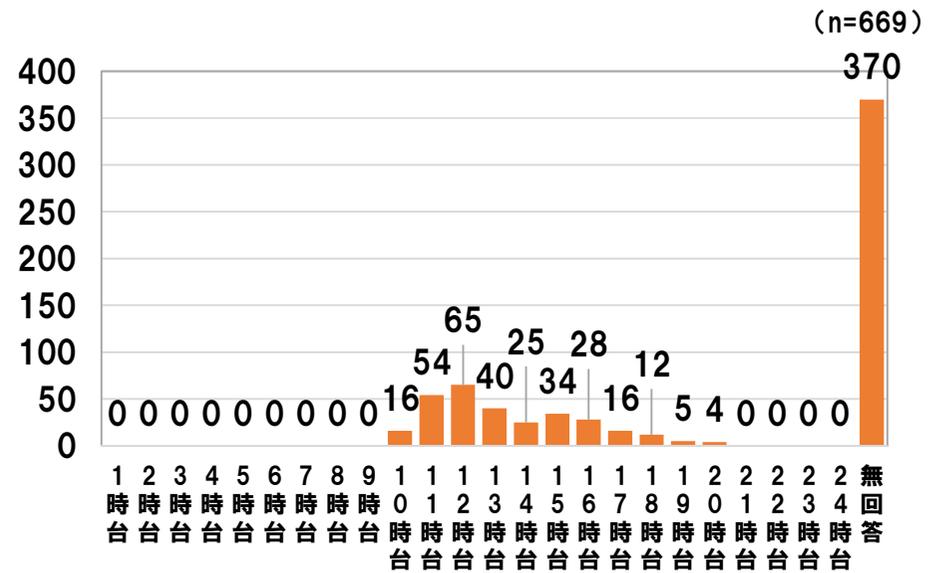


## 質問5. 普段の移動 (大型店・専門店等)

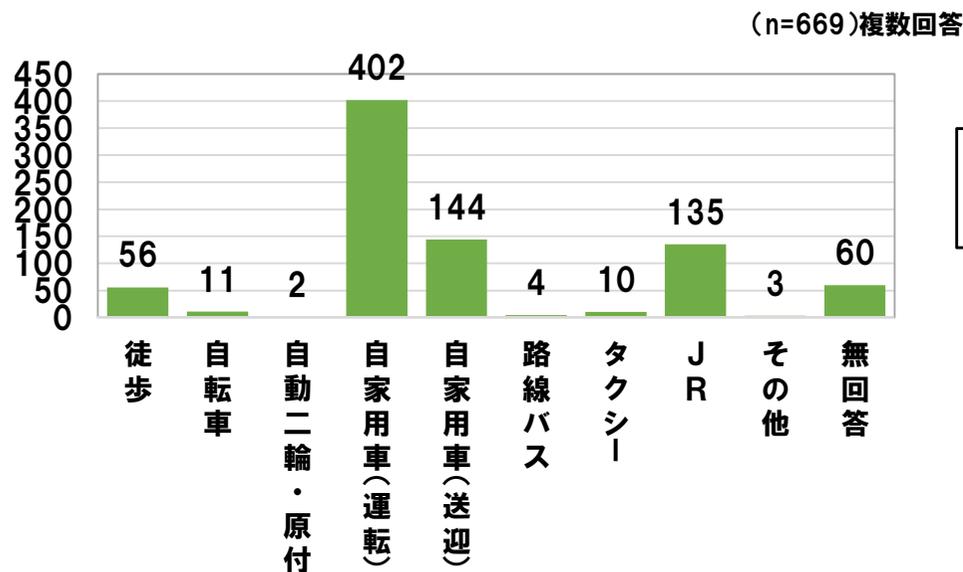
### ④ 目的地への到着時間



### ⑤ 目的地からの出発時間



### ⑥ 利用する交通手段

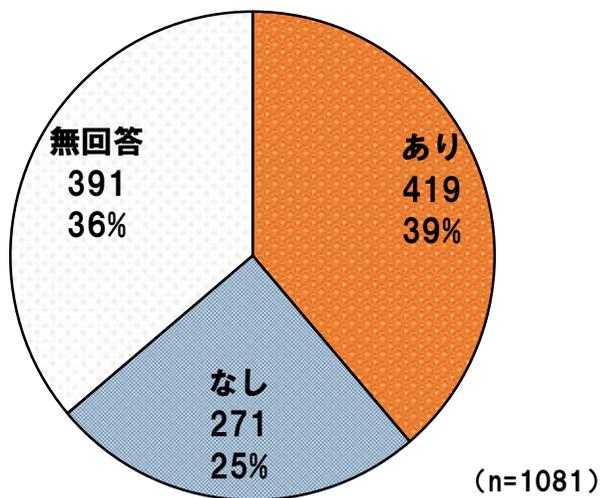


※複数回答

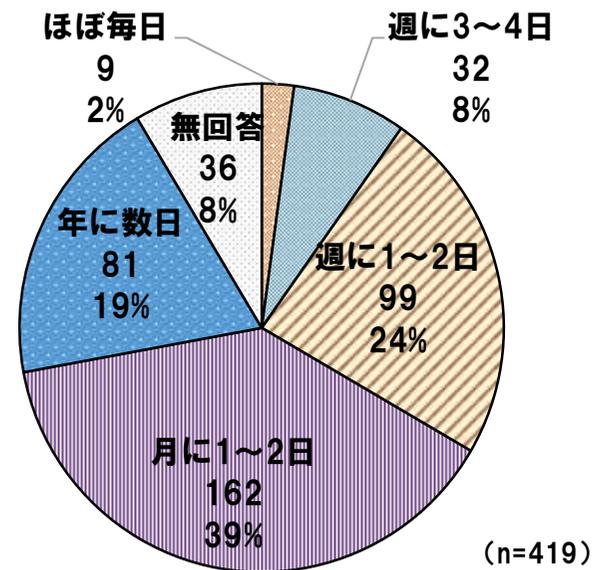
利用する交通手段は、「自家用車(運転)」が最多となっている。

### 質問5. 普段の移動 (その他私用等)

① その他私用等の有無

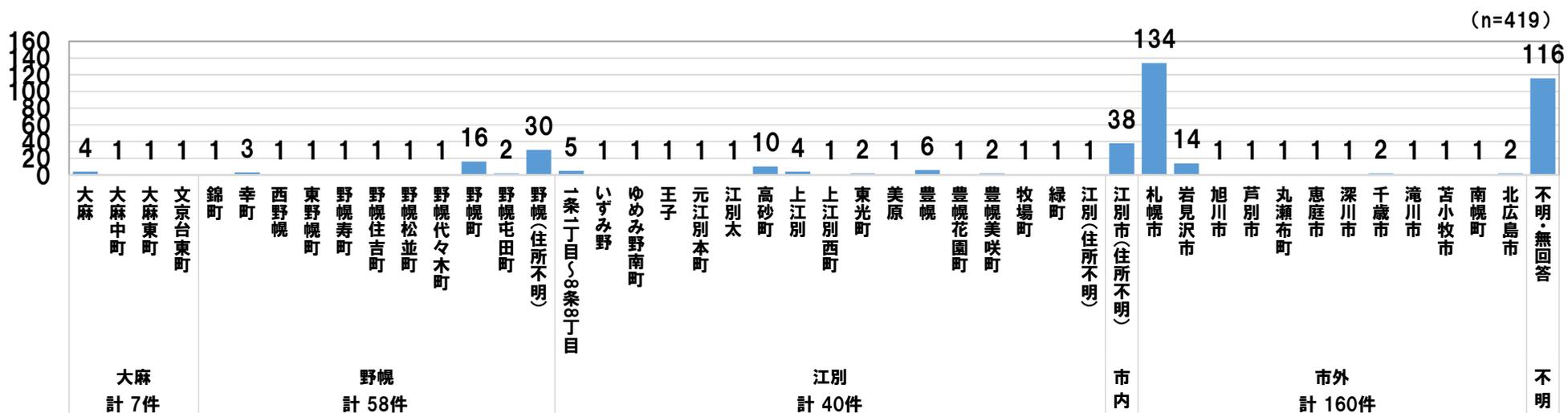


② 頻度

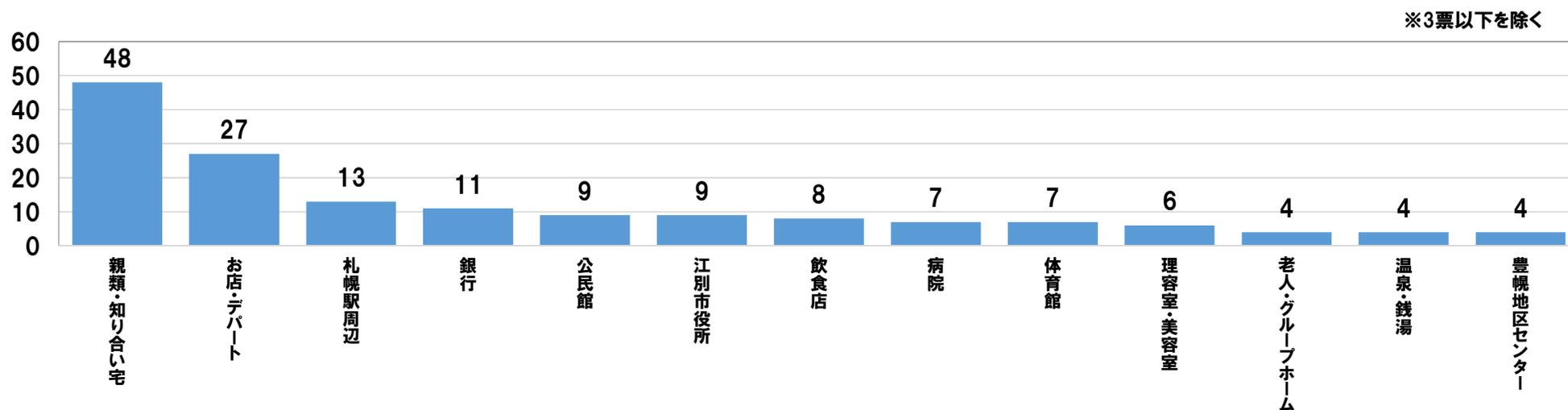


## 質問5. 普段の移動 (その他私用等)

### ③ 目的地 (行き先・2箇所まで)

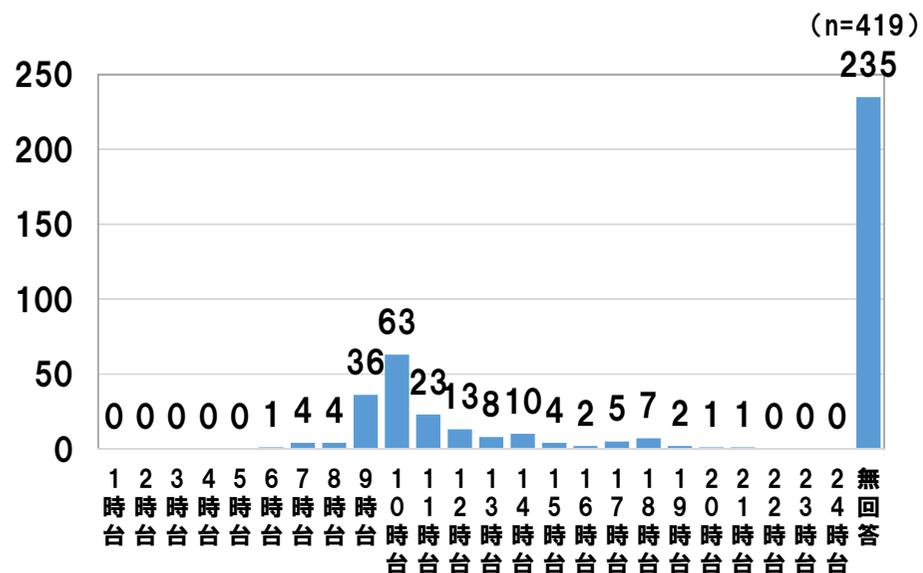


### ③ 目的地 (行き先・2箇所まで) 施設名

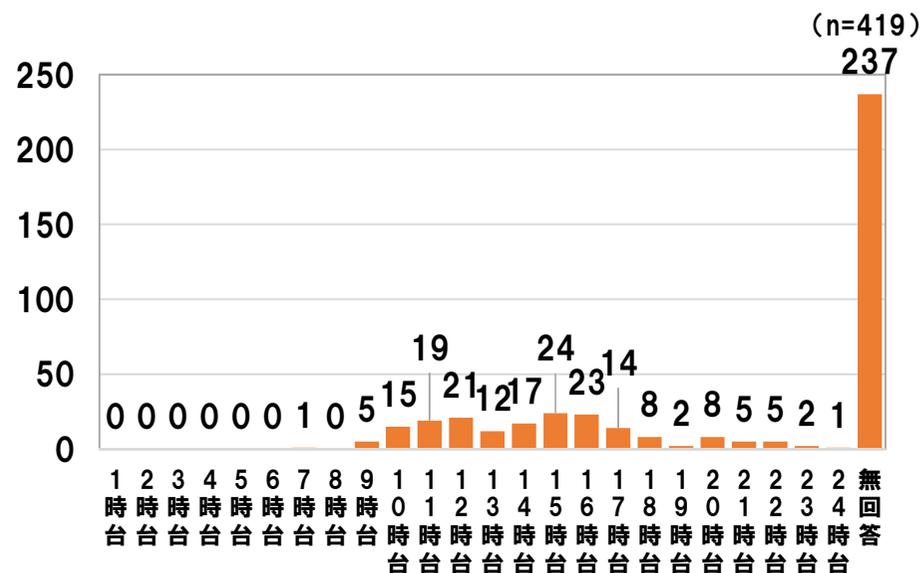


## 質問5. 普段の移動（その他私用等）

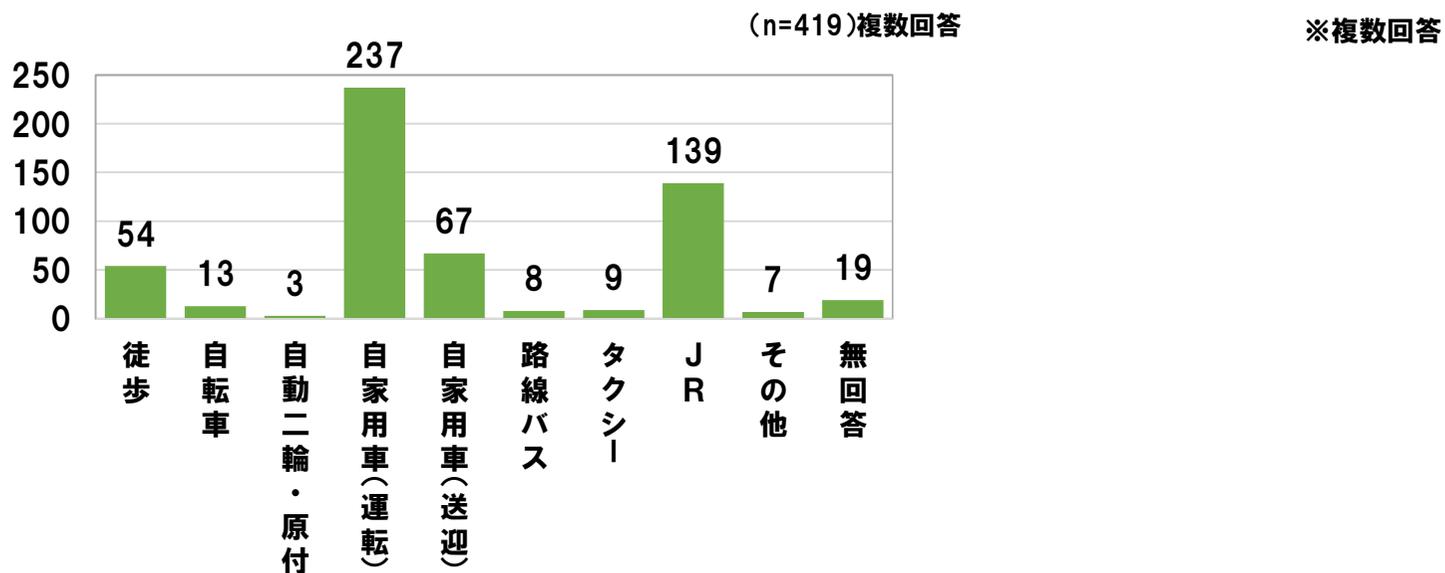
### ④ 目的地への到着時間



### ⑤ 目的地からの出発時間

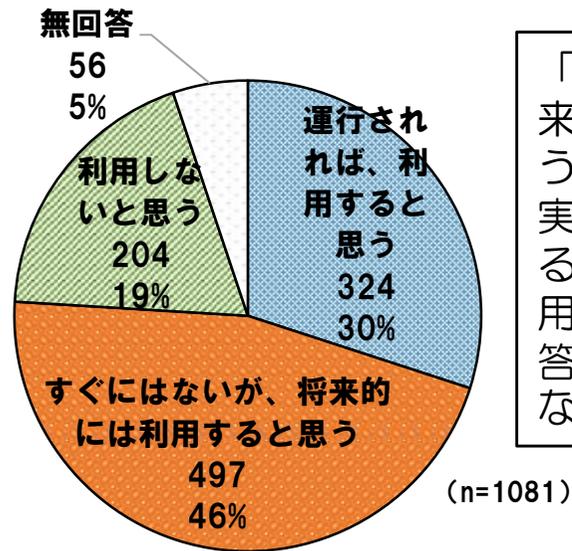


### ⑥ 利用する交通手段



## 質問6.新たな公共交通が運行した場合の利用意向

①利用意向

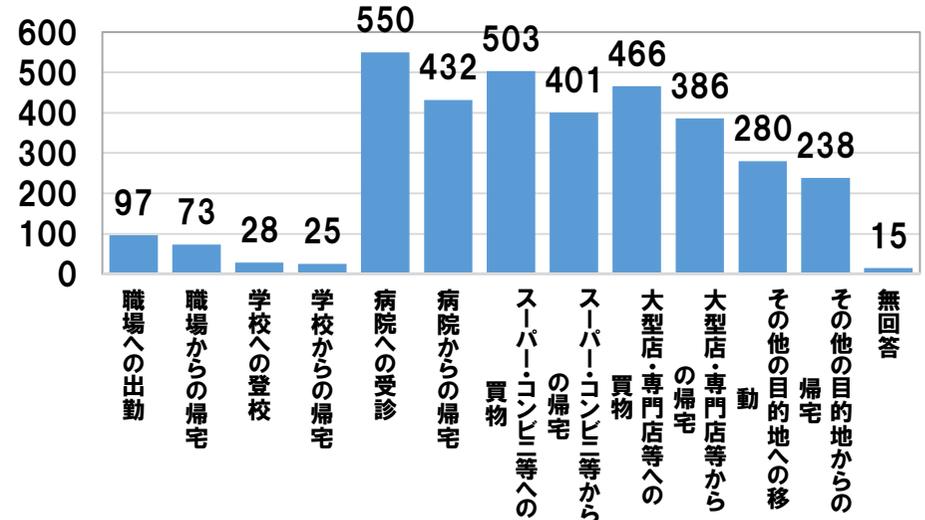


「すぐにはないが、将来的には利用すると思う」との回答が約半数、実際に利用が見込まれる「運行されれば、利用すると思う」との回答の割合が約3割となっている。

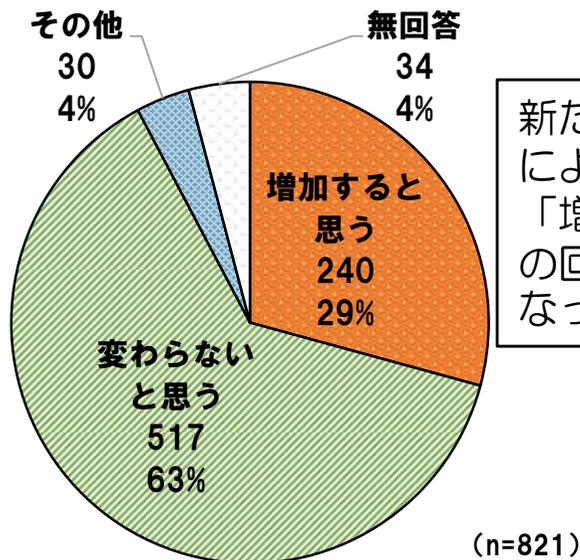
②目的

利用目的は、通院・買い物が多くなっている。

(n=821)複数回答



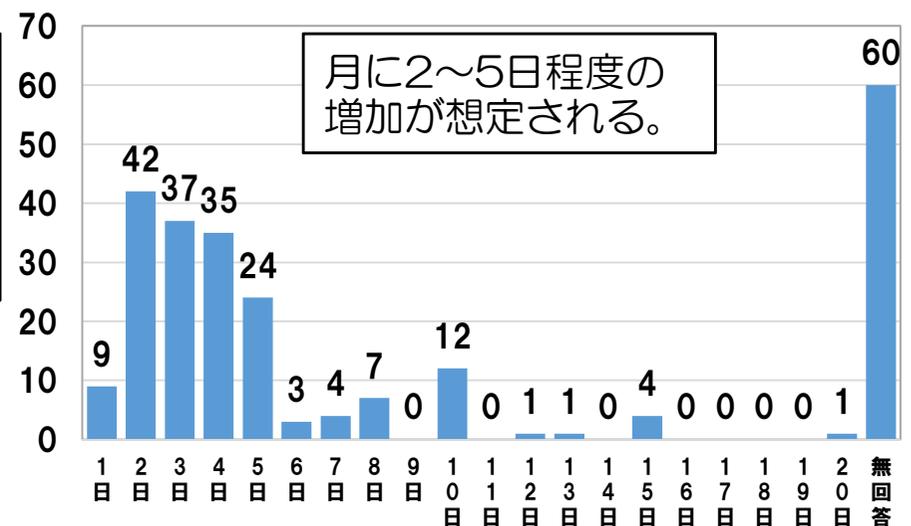
③-1外出頻度の増加



新たな公共交通の運行により、外出頻度が「増加すると思う」との回答は、約3割となっている。

③-2増加日数

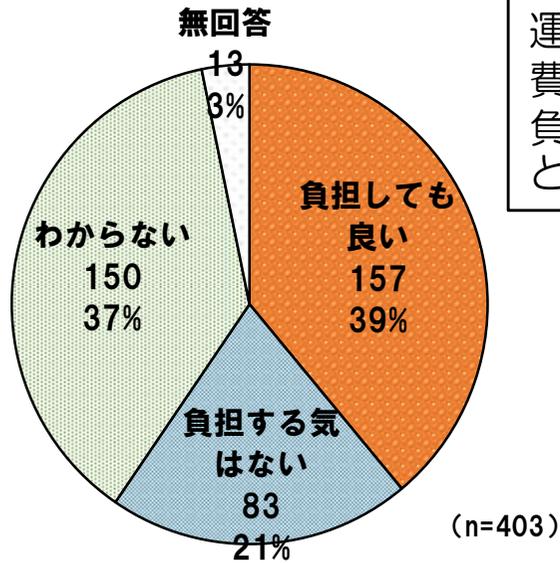
(n=240)



月に2~5日程度の増加が想定される。

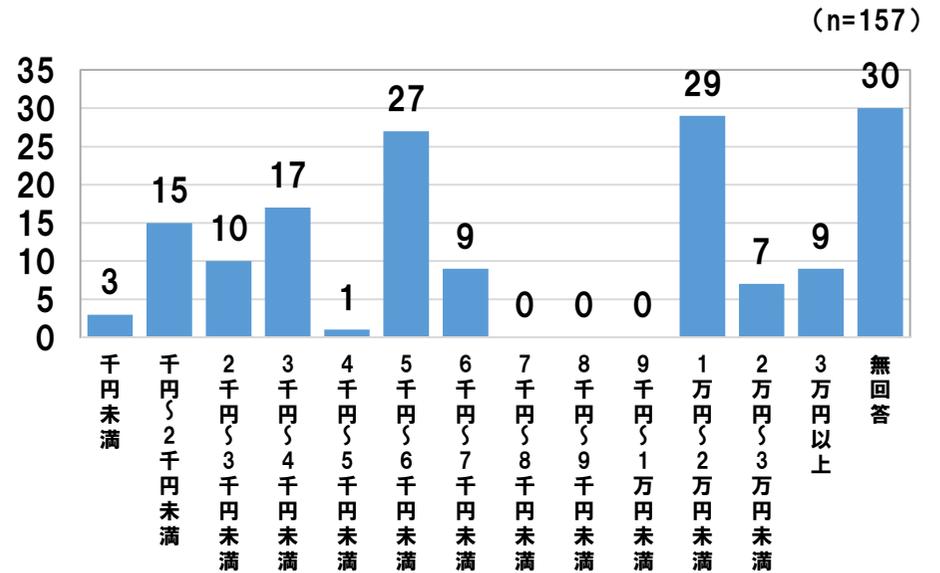
## 質問6.新たな公共交通が運行した場合の利用意向

④-1年会費等の負担の意思

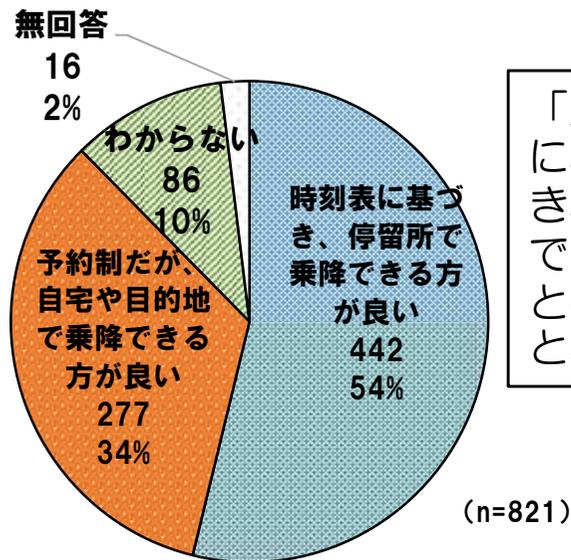


運営するための費用は、約4割が負担しても良いと回答している。

④-2年会費等の可能負担金額

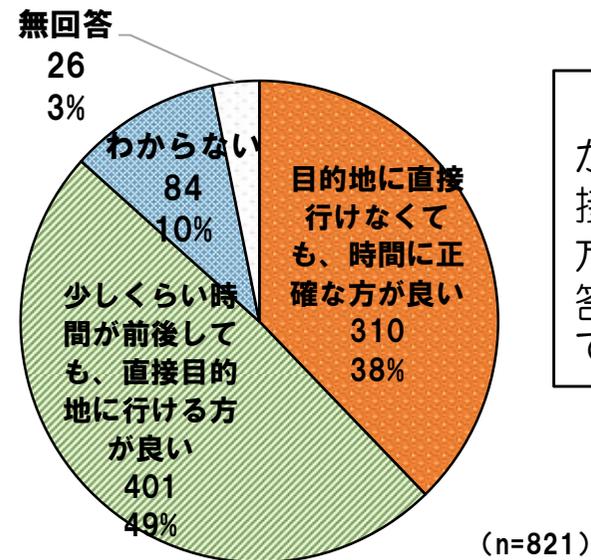


⑤望ましい運行サービス(利用方法)



「路線バスのように、時刻表に基づき、停留所で乗降できる方が良い」との回答が約半数となっている。

⑥望ましい運行サービス(到着時間)

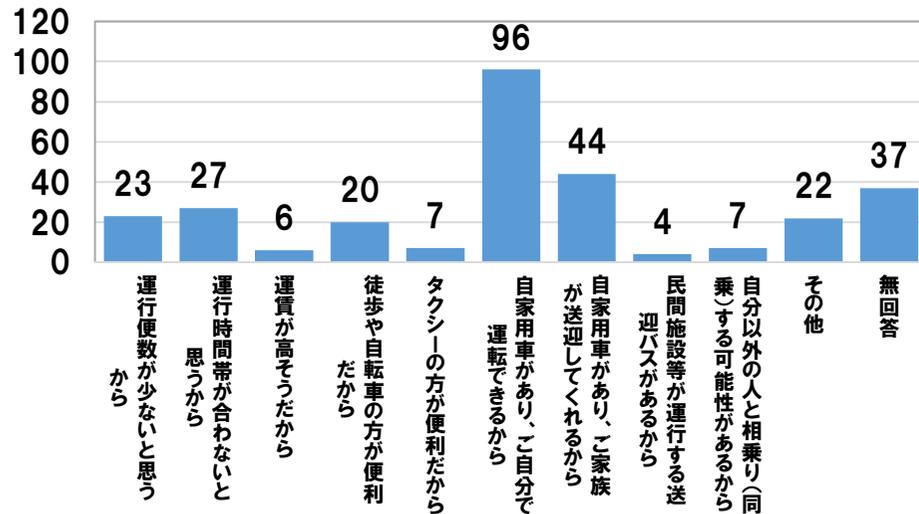


「少しくらい時間が前後しても、直接目的地に行ける方が良い」との回答が約半数となっている。

## 質問6.新たな公共交通が運行した場合の利用意向

### ⑦利用しないと思う理由

(n=204)複数回答



#### ※その他内容

- ・JRの利用で満足している
- ・JRの駅が近いのでJRを利用する
- ・現在移動に特に不便を感じていない。
- ・足が悪く公共の交通機関の利用は厳しい。
- ・足が悪いので思うように利用できないと思う。
- ・現状で間に合っている。病院の帰りに立ち寄る。
- ・認知症の症状があり一人での移動が困難。
- ・豊幌に住んでいないと思うから。
- ・何もわかっていない。17時以降の降車人数調べたら？
- ・自分の行きたい場所に行くとは限らないから。
- ・タクシーは便利だけれど金銭的負担は大きい。
- ・将来的にバス停までの移動が大変。

「利用しないと思う」方の理由は、「自家用車がある」との回答が多くなっている。

「運行便数」や「運行時間帯」といった運行サービスを理由とする回答は、それぞれ回答者の約1割となっている。

### 【回答者属性】

- 回答者の年齢は、60代の割合が最も高く、60代以上の年齢層で全体の約半数を占めている。
- 世帯構成は「夫婦のみ」、「親子二世帯」がそれぞれ約4割となっており、「単身」の世帯は、約1割となっている。
- 自家用車の保有率は、約9割となっている。複数台の保有は、約4割となっている。

### 【送迎交通】

- 約半数の世帯において自家用車による送迎が発生している。
- 主な送迎の目的は、通院や買い物に関する項目が多く挙げられている。
- 送迎の頻度が高くなると想定される通勤や通学に関する送迎においても、少なからず発生しており、「週に5日以上」の送迎が発生しているとの回答は、約2割となっている。
- 約半数の方が「送迎すること」、「してもらうこと」に対して、何らかの負担を感じている。

### 【豊幌地区におけるタクシーの利用】

- タクシーは「利用しない」が約7割を占めており、日常生活の足として普段から利用されている可能性は低い。
- タクシーの利用目的は「通院」と「その他の目的」が多くなっており、通勤・通学・買い物といった回答は少ない。
- 問題点や改善点は、「料金が安い」との意見の他、「配車・迎車に時間がかかる」、「豊幌駅にタクシー乗り場がない（タクシーがない）」といった回答が見られる。

### 【豊幌地区におけるJRの利用】

- JRは「日常的・定期的利用している」との回答が約半数となっており、「他の交通手段が利用できないときに利用している」との回答と合わせると、回答者の約8割の方がJRを利用している。
- JRを利用する際の目的地は、「札幌市」との回答が多く回答されている。
- 問題点や改善点は、「運行本数が少ない」との意見の他、「遅延・運休が発生する」、「運休時に代替交通手段がない」、「冬は駐車場が利用できない」、「駅までの交通手段がない」といった回答が挙げられている。

### 【豊幌地区における公共交通の必要性】

- ・「現状で必要である」との回答は約4割となっており、「将来的には必要である」との回答が約半数を占めている。

### 【普段の移動について】

#### ●通勤・通学

- ・回答者の約半数の方が通勤・通学目的の移動を行っており、その頻度は「ほぼ毎日」が約7割を占めている。
- ・通勤・通学の目的地は、札幌市との回答が最多となっており、回答者の約4割が挙げている。
- ・目的地への到着時間は、8時台が最多となっており、7時台から9時台にかけての回答が多くなっている。目的地からの出発時間は、17時台と18時台の回答が多くなっている。
- ・利用する交通手段は、「自家用車（運転）」が最多となっており、回答者の約半数が回答している。次いで「JR」との回答が多く、こちらも回答者の約半数が回答している。

#### ●通院

- ・回答者の約半数の方が通院目的の移動を行っており、その頻度は「月に1～2日」が約半数となっている。
- ・通院先は、「若草町」と「札幌市」との回答が多くなっており、「若草町」との回答のほとんどが「江別市立病院」を通院先としている。また、「江別病院」など、野幌地区への回答も一定の回答がある。
- ・目的地への到着時間は、8時台から10時台にかけての回答が多くなっている。目的地からの出発時間は、10時台から12時台の回答が多くなっている。
- ・利用する交通手段は、「自家用車（運転）」が最多となっており、回答者の約半数が回答している。次いで「JR」との回答が多くなっている。

## 豊幌地区へのアンケート調査のまとめ

### ●日常的な買い物（スーパー・コンビニ等）

- 回答者の約7割の方が日常的な買い物のための移動を行っており、その頻度は「週に1～2日」が約6割を占めている。
- 日常的な買物の目的地は、岩見沢市との回答が最多となっており、具体的な施設名として、Aコープほろむい店や北雄ラッキー幌向店などが挙げられている。
- 江別市内では、野幌町との回答が最多となっており、幸町や東野幌本町など、JR野幌駅周辺の回答が多くなっている。また、豊幌美咲町、豊幌といった、地域内の回答も多く挙げられている。
- 目的地への到着時間は、10時台が最多となっている。目的地からの出発時間は、11時台から12時台にかけての回答が多くなっている。
- 利用する交通手段は、「自家用車（運転）」が最多となっており、回答者の約6割となっている。

### ●その他の買い物（大型店・専門店等）

- 回答者の約6割の方が大型店・専門店等への買い物移動を行っており、その頻度は「月に1～2日」が約4割で最も割合が高い。次いで、「週に1～2日」が約3割となっている。
- 大型店・専門店等への買物の目的地は、江別市内では、野幌町や幸町との回答が多く挙げられており、具体的な施設名として、イオン江別店やイオンタウン江別が挙げられている。
- 目的地への到着時間は、10時台が最多となっており、10時台と11時台の回答が多くなっている。目的地からの出発時間は、11時台から13時台にかけての回答が多くなっている。
- 利用する交通手段は、「自家用車（運転）」が最多となっており、回答者の約6割となっている。

### 【新たな公共交通が運行した場合の利用意向】

- 新たな公共交通が実際に運行した場合の利用意向は、「将来的に利用すると思う」との回答が約半数を占めており、実際に利用が見込まれる方の割合は、約3割となっている。
- 約2割の「利用しないと思う」方の理由は、「自家用車がある」との回答が多く挙げられている。「運行便数」や「運行時間帯」といった運行サービスを理由とする回答は、それぞれ回答者の約1割となっている。
- 想定される利用目的は、通院や買い物に関する回答が多くなっている。
- 新たな公共交通の運行により、外出頻度が「増加すると思う」との回答は、約3割となっている。また、増加する程度は、月に2日から月に5日程度の増加を想定している回答が多くなっている。
- 新たな公共交通を運営するための費用負担は、全体の約4割が負担の意思を示している。また、年会費等の支払意思額は、5,000円台や10,000円台など、切りの良い金額の回答が多くなっている。なお、最高額は、60,000円との回答となっている。

### 【新たな公共交通の望ましい運行サービス】

- 回答者にとって望ましい利用方法では、「路線バスのように、時刻表に基づき、停留所で乗降できる方が良い」との回答が約半数を占めており、予約制・ドアツードア方式は、約3割の回答となった。
- 望ましい到着時間では、「少しくらい時間が前後しても、直接目的地に行ける方が良い」との回答が約半数となっているが、「目的地に直接行けなくても、時間に正確な方が良い」との回答も約4割と多くなっている。